

第9回兵庫県地方協議会の議事概要

○第8回協議会の概要について

▼取引環境・労働時間の改善に向けては、運送事業者と荷主側が同じテーブルに付いて議論をすることが重要。

▼勤務時間の削減においては、成功事例の展開を図れば参考になるのではないか。

▼アンケート調査のクロス集計結果から、中小規模の運送事業者が荷主と交渉できつつある状況が示されており、これをいかに進めていくのが今後の課題ではないか。

○ガイドラインについて

▼改善のための課題がどこにあるのかを把握することが重要だが、闇雲にそれを探そうとしても見つけづらい。事例集を活用し、また、広く周知することによって改善のための共通認識を持つ機運になれば良い。

▼これまでの成果をまとめたガイドラインを活用すべき。荷主側も働き方改革ということで、運賃や時短に対する機運が高まっているので、交渉の際のツールとすれば良いのではないか。

▼荷主側としては、運送事業者から提案がある方が受けやすい。運送事業者側からガイドラインに示されたようなことを議論の場に持ち込んでもらうスキームが良いのではないか。

○協議会における次年度以降の取組について

▼ガイドラインの事例等はわかりやすく出来ており、これを協議会名にて荷主等に発送してもらうことは大いに参考にしてもらえと思う。

▼乗務員不足は年々深刻化している。人手不足による倒産も増加傾向なのでスピード感を持って取り組んで欲しい。